

農泊で地域を元気に！

該当カテゴリ **農泊** 農林漁業、農村文化体験 教育機関との連携



農作業体験



チームビルディングを取り入れた仲間づくり



ラフティング体験

概要

- ・ 周辺6市町村の農家、ペンション、民宿など130軒で地域資源を生かした農泊事業を展開。
- ・ 首都圏の中・高校生を中心に教育効果の高い体験プログラムについて、学校側と共同で作成して実施。

成果

- ・ 農家民泊については、インバウンド（台湾、東南アジアなど）を含め年間5,000人の宿泊者を実現。
- ・ 学校には事前学習としての訪問や、生徒が卒業後に家族で再訪いただくなど交流が進展。



スポーツ雪合戦



一般社団法人
みなかみ町体験旅行 副会長と
群馬県拠点 地方参事官

築こう！ 「農村・生き物・水管理」 社会

該当カテゴリ 農林漁業、農村文化体験 環境保全・景観保全 教育機関との連携



生き物調査風景



ビオトープ



児童も交えた植栽活動



水田魚道の設置風景

概要

- 土地改良区を中心として環境保全組織を広域的に組織し、農地の維持・管理、環境保全に取り組む。
- 子供が自然と触れ合える親水空間として生きものに優しい水路を整備し、また、間伐材を利用したビオトープ等を造成。

成果

- 広域的組織を設立したことから、各集落をまたぐ活動が可能となり、効果的効率的な環境保全活動に進展。
- 非農家の子どもや市街地の小学生を招いての活動は、環境保全の大切さを学ぶ良い機会となり、次世代への継承として取り組む。



みたとうぶ保全会 会長と
栃木県拠点 総括農政推進官

いちごの農福連携で日本一を目指す！

該当カテゴリ 雇用 6次産業化 農福連携



いちご狩りの様子



障がい者の方々が製造した「ひだまりのゼリー」



JGAP認証取得



自社のいちごを使用した
6次産業化商品の数々

概要

- いちご、もも、さくらんぼ等のフルーツ狩りや、地元野菜やいちごを用いたレストランやカフェを運営するまで拡大した取組。
- 障がい者によるいちご、ももの栽培など農福連携に取り組み、収穫後の加工品には商品名を付与して販売。

成果

- 事業の売上額は直近8年間で2倍以上に達し、地域では多くの雇用を創出。
- 年間の来訪者数は30万人以上を実現。



株式会社いちごの里ファームの皆様と
栃木県拠点 地方参事官

女性が牽引する農業の6次産業化

該当カテゴリ 6次産業化 高齢者の活躍 女性の活躍



直売所内の様子



加工部の女性達と地元食材を使った料理と商品



もろこしフェアでのもろこし収穫体験



フルーツ祭りでの梨の収穫体験

概要

- 平成12年に女性数名で軽トラックの荷台を利用してはじめた朝市が、地元農産物を食材としたレストラン事業、6次産業化による農産物直売・加工施設を運営する組合員200人超の法人に発展。
- 農産物加工やレストランの料理提供など施設運営では、地域の女性が活躍。

成果

- 県内外の消費者を対象とし、年に数回開催するイベントでは、計1万人近くの来場者があり、地域と都市住民との交流が進展。
- レストランで使用している野菜の産地を表示し、来場者における地域食材への理解と地産地消に寄与。



中道農産物加工直売組合の皆様と
山梨県拠点 地方参事官

「人と人とのつながり」 そんな地・帯那

該当カテゴリ **環境保全・景観保全** **都市農業**



菜の花観賞会（菜の花摘み取り体験）



宿泊体験施設を東京藝術大学生がペインティング



C S R活動の協定を結んだファミマ職員



ジャガイモ収穫祭（ジャガイモ収穫体験）

概 要

- ・ 棚田保全、耕作放棄地の再生利用、ラジオを通じての都市住民へのPR等を行い、都市住民を招いて交流を進めている取組。
- ・ 改装した宿泊施設において、都市住民や大学生による農泊体験や海外留学生による農作業体験などの国際交流を図っている。

成 果

- ・ 宿泊施設の収入から、施設に従事する雇用が創設。
- ・ 海外留学生との交流により、日本の農業、農村文化を海外に発信。



帯那地域活性化推進協議会 会長と
山梨県拠点 地方参事官

地域コミュニティの拠点となる直売所

該当カテゴリ **農泊** **雇用** **6次産業化**



直売センター販わいの様子



グリーンツーリズム農業体験



子供達の野菜売場管理・レジ打ち体験



そすい庵の様子と天もりそば

概要

- ・ 直売所を地域コミュニティの拠点として、地元農産物を食材とした農村レストラン事業、惣菜・菓子の加工販売などの6次産業化に取り組む。
- ・ 都市部や台湾から農業体験・農家宿泊体験として中高校生を受け入れ。

成果

- ・ 農村レストランでは高齢者がそば打ち支援として従事しており、地域の高齢者の生きがいに寄与。
- ・ 地域の小学生に対し、そば打ちや野菜づくりの勉強会を開催し、次代を担う世代とのコミュニケーションを図る。



ふるさとにしなす産直会 会長と
栃木県拠点 地方参事官

食べて守る、森のみらい

該当カテゴリ **鳥獣被害防止** **ジビエ** **食育・教育**



イズシカフェスの開催



鳥獣害対策 わな講習会



鳥獣害対策勉強会

概要

- ・ 伊豆市が鳥獣被害対策としてジビエ加工を主目的に供用開始し、ジビエを新たな地域ブランドとして創出。
- ・ 地元住民を対象とした鳥獣害対策勉強会等を開催し、地元の中学校、高校には鳥獣被害の啓発活動やジビエメニューの開発支援等に取り組む。

成果

- ・ シカ、イノシシの搬入頭数は直近5年間で1.5倍、鹿・猪肉売上額は2.4倍に増加し、獣害対策と食肉の両面から効果が高まっている。
- ・ 個体を買取ることにより、狩猟者の負担軽減や捕獲意欲の増進に寄与。

イズシカ肉



伊豆市長（伊豆市食肉加工センター「イズシカ問屋」）と
静岡県拠点 地方参事官

憧れの「農」ある暮らしを楽しみませんか

該当カテゴリ **農林漁業、農村文化体験** **食育・教育** **都市農業**



講習会で農作業の説明を行う園主



園主の指導の下、農作業を行う利用者



楽しい収穫のひとつ



収穫祭で交流を楽しむ利用者

概要

- ・ 農業体験農園とは、都市住民に農作業を通じて農業への理解を深めてもらうため、園主の指導の下、種まき・植付けから収穫までの農作業を体験できる「農業のカルチャースクール」です。
- ・ 農園では、年間を通じた農作業講習会のほか、収穫祭等のイベントを開催し、園主や利用者相互の交流がはかられています。

成果

- ・ 農作業等を通じて、利用者（都市住民）の都市農業、農地への理解の醸成が進むことが期待され、都市農業の振興にも寄与。
- ・ 農業体験農園の取組は全国に普及し、同様の取組は11都県、134農園で実施。



NPO全国農業体験農園協会の皆様と
東京都拠点 地方参事官

日本の農業をステキにしよう！

該当カテゴリ **食育・教育** **雇用** **6次産業化**



楽しく美味しく学ぶことが出来るミュージアム



野菜や果物を収穫し、その場で加工



グランピング施設の食事



『日本の農業をステキにしよう』で
集まったメンバー

概要

- ・ 廃校となった小学校跡地に農業体験型テーマパークを開園し、観光客を招き入れる活動を実施。
- ・ 地元農家やJAと連携し、多彩な農業体験、加工体験、自然体験を展開。

成果

- ・ 年間売上額は、取組を始めたH28以降年々増加し、H30は初年度に比べ1.5倍に上昇。
- ・ テーマパークの来訪者数は22万人で、市の観光客数の36%を占める。



なめがたしろはとファームの皆様と
茨城県拠点 地方参事官

体験活動で地域を元気に！（千葉県南房総市）

該当カテゴリ **農泊** **農林漁業、農村文化体験** **環境保全・景観保全**



里山・里海体験キャンプ



茅を刈り、宿泊施設の茅葺屋根補修



都市部企業の米作り支援



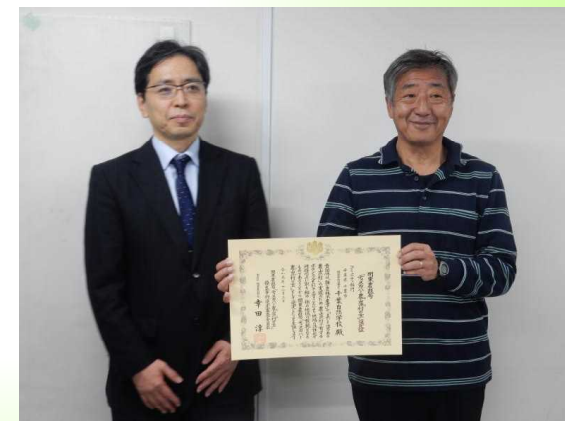
南房総体験活動ネットワーク協議会活動（鴨川市、館山市、南房総市、鋸南町行政。団体で構成）
波の伊八ツアー、揚げ重パーティー

概要

- ・ 南房総エリアで農林漁業・農村文化体験キャンプを実施し、首都圏から校外学習の場として利用。
- ・ 茅葺きの古民家を再生し、都市と農山漁村の交流施設として活用。
- ・ 平群ツーリズム協議会（平群3地区住民・行政）でハイキング、郷土料理塾、米作り支援。

成果

- ・ 来訪者が多くなり、来訪者との交流には、地元住民が積極的に参加し、地域との触れ合いの場として喜ばれている。
- ・ 来訪者の受け入れにあたっては、近隣地域の団体とネットワーク協議会を結成したことから周辺地域との連携が進展。



NPO千葉自然学校 理事長と
千葉県拠点 地方参事官